

事業所名: グループホームこころ

作成日: 平成 24年 3月 18日

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	併設する老人保健施設と合同でのみ、避難訓練を行っているのが現状である。避難訓練に地域住民の方々の参加を呼び掛け、地域との協力体制を構築させていく必要がある。	#1 地域住民も交えた避難訓練の実施ができる。 #2 初期消火の方法や火災通報装置の操作方を全スタッフが習得できる。	#1 防火管理者と協議し、避難訓練や初期消火や火災通報装置の操作方法習得に向けた勉強会を実施する。 #2 溝延地区会(2区)に加入し、地域住民の協力を得られるよう働きかける。	12ヶ月
2	34	利用者の急変や事故発生時に備え、併設する老人保健施設と合同で勉強会を開催し、参加しているが実践的なものではないため、スタッフに不安がある。	全スタッフが急変や事故発生時に迅速な対応ができるよう習得できる。	#1 急変時や事故発生時の対応、また体調変化の早期発見するための学習や事故を未然に防ぐための危険予測訓練を定期的実施する。 #2 外部の研修に参加し、知識・技術の向上に取り組む。また、全スタッフへ周知する。	12ヶ月
3	13	正職員へは法人内外の研修を受ける機会は確保されているものの、パート職員が研修を受ける機会は限られているため、ホーム内で勉強できる機会を設ける必要がある。	全スタッフが一定の知識や技術を習得し、利用者への支援ができる。	#1 年間計画を立案し、定期的に勉強会を実施する。 #2 同法人であるグループホーム笑顔と情報交換や意見交換できる場を設ける。	12ヶ月
4	10	ご家族様の面会が少ない方もおり、ご家族様の意見や要望を聞かせていただく機会が限られている。	スタッフから積極的な関わりを持ち、ご家族様から様々な意見や要望を聞かせていただく機会を確保することができる。	#1 毎月のお便りや電話での連絡や報告時には、生活の様子も含めて伝えるなどの積極的な関わりを継続する。 #2 ご家族様参加の行事を企画し、意見交換や交流する機会を確保する。	12ヶ月
5	54	居室に利用者の使い慣れた物が少ない。今以上に、ご本人が居心地よく過ごせる居室作りを検討していく必要がある。	ご本人やご家族様と相談しながら、居心地良く過ごせる居室を作っていくことができる。	ご本人やご家族様と相談し、使い慣れた物の持ち込みや新たな飾り付けなどを行っていく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。